

2020 年度第 5 回愛知医科大学病院

治験審査委員会会議の記録の概要

開催日時 2020 年 8 月 4 日（火） 16 : 30～17 : 10

場 所 愛知医科大学 会議室

出席者 牛田享宏、高見昭良、佐々木誠人、丹羽淳一、大西正文、野々垣常正、
葛谷孝文、辻巻健太、小寺努、山本健司、佐藤祐子、吉川和宏、井上里恵

○審議事項

I 治験の新規申請の実施判定について

1. ファイザー株式会社の依頼による、PF-06480605 の後期第Ⅱ相試験

(ファイザー 消化管内科)

治験責任医師からの治験の概要説明、現在までに得られている臨床成績の資料等に基づき、
当院での治験実施の妥当性について審議した。

審議結果：承認

II 治験の実施状況報告、契約内容・実施計画内容変更、継続について

1. 虚血性心疾患患者を対象とした NP023 の多施設共同比較試験 (ニプロ循環器内科)

治験の実施状況及び費用の改訂について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議
した。

審議結果：承認

2. 中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の導入
療法及び維持療法における安全性及び有効性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラ
セボ対照試験 (アグァー消化管内科)

治験実施期間延長、治験実施契約書第 9 条の変更、治験の実施状況及び費用の改訂、治験実
施計画書、説明文書、同意文書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性につい
て審議した。

審議結果：承認

3. 潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の安全性及び有効性を評価する
第Ⅲ相多施設共同長期継続投与試験 (アグァー消化管内科)

治験実施契約書第9条の変更、治験の実施状況及び費用の改訂、治験実施計画書、説明文書、同意文書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

4. ユーシービージャパン株式会社の依頼による **Brivaracetam (ucb34714)** の第Ⅲ相試験
(ユーシービージャパン精神神経科)

付保証明書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

5. ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした **Filgotinib** の
継続投与試験 (ギリアド・サイエンシズ消化管内科)

治験実施期計画書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

6. ユーシービージャパン株式会社の依頼によるてんかん患者を対象としたレベチラセタムの
第Ⅲ相試験 (ユーシービージャパン小児科)

補償制度の概要の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

7. ファイザー株式会社の依頼による 50 歳以上の成人を対象とする **PF-06425090** の第3相
試験 (ファイザー感染症科)

治験実施計画書、説明文書、同意文書の変更、被験者への負担軽減費について、クローバー
ニュースレター、**Quo** カード授受記録、治験費用に関する変更覚書について説明があり、治
験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

8. **CP-690,550** 潰瘍性大腸炎患者対象 第Ⅲ相多施設共同非盲検試験 (ファイザー消化管内科)

治験実施計画書、説明文書、同意文書、治験薬概要書の変更について説明があり、治験実施
の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

9. 生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患
者を対象としたウパダシチニブ (**ABT-494**) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作
為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験 (アグフィー消化管内科)

治験実施計画書、説明文書、同意文書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性
について審議した。

審議結果：承認

10. 既存治療及び／又は生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（アッガイー消化管内科）
治験実施計画書、説明文書、同意文書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

11. M14-431 試験又は M14-433 試験を完了したクローン病患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び長期継続投与試験（アッガイー消化管内科）
治験実施計画書、説明文書、同意文書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

12. 中等症から重症の活動性クローン病患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（アッガイー消化管内科）
治験薬概要書、治験実施計画書分冊の変更、治験実施期間延長、治験実施契約書第 9 条の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

13. M16-006 試験又は M15-991 試験の導入療法で改善した；若しくは M15-989 試験を完了したクローン病患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験

（アッガイー消化管内科）

治験薬概要書、治験実施契約書第 9 条の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

14. 生物学的製剤が奏効しなかった中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（アッガイー消化管内科）

治験実施計画書、治験薬概要書、Subject Facing Screen Report for Slate の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

15. M16-067 試験又は M16-065 試験の導入療法で改善した潰瘍性大腸炎患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験 (アッガイー消化管内科)
治験実施計画書、説明文書、同意文書、治験薬概要書、Subject Facing Screen Report for Slate の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
16. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Padsevonil の第Ⅲ相試験
(ユーシービージャパン精神神経科)
補償制度の概要の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
17. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Padsevonil の第Ⅲ相継続投与試験
(ユーシービージャパン精神神経科)
補償制度の概要の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
18. 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼によるアトピー性皮膚炎の患者を対象とした BI 655130 の第Ⅱ相試験 (日本ベーリンガーインゲルハイム皮膚科)
治験薬概要書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
19. Shire の依頼によるけいれん性てんかん重積状態を有する小児患者を対象とした MHOS/SHP615 の第 3 相非盲検継続試験 (IQVIA サービス ジャパン小児科)
外国製造業者 (スポンサー会社) 変更及び実施体制について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
20. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Brivaracetam (ucb34714) の第Ⅲ相長期継続投与試験 (ユーシービージャパン精神神経科)
治験の実施状況及び費用の改訂、付保証明書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
21. ノーベルファーマ株式会社の依頼による NPC-06 の第Ⅱ相臨床試験 (ノーベルファーマ皮膚科)

治験の実施状況及び費用の改訂、治験分担医師の削除について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

22. ノバルティスファーマ株式会社の依頼による腎移植患者を対象とした CFZ533 の第Ⅱ相試験（ノバルティスファーマ腎移植外科）

治験分担医師の追加と削除について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

23. 日本イーライリリー株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした LY3074828 の第Ⅲ相試験（日本イーライリリー消化管内科）

治験実施計画書補遺の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

24. ALS 対象の第Ⅲ相試験 1（田辺三菱製薬—神経内科）

機器貸与に関する覚書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

25. 滲出型加齢黄斑変性患者を対象に高用量アフリベルセプトの有効性及び安全性を検討する無作為化二重遮蔽実薬対照第Ⅲ相試験（バイエル薬品—眼科）

治験実施契約書第 3 条の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

26. ファイザー株式会社の依頼による PF-06865571 および PF-05221304 の第Ⅱ相試験

（ファイザー—肝胆臓内科）

患者報告アウトカムについて説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

27. アムジェン株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした AMG423 の第Ⅲ相試験

（アムジェン—循環器内科）

当院で発生した重篤な有害事象（慢性心不全の急性増悪：第 1 報）、について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

28. ノバルティスファーマ株式会社の依頼による網膜中心静脈閉塞症を対象とした RTH258 の第Ⅲ相試験（ノバルティスファーマ眼科）
添付文書（アイリーア硝子体内注射液 40mg/ml）、治験薬概要書、治験実施計画書、説明文書および同意文書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
29. 日本イーライリリー株式会社の依頼による NASH 患者を対象とした LY3298176 の第Ⅱ相試験（日本イーライリリー肝胆膵内科）
画像検査に関する覚書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
30. 固形がん患者に対する Mogamulizumab（抗 CCR4 抗体）・Nivolumab（抗 PD-1 抗体）術前併用投与の安全性を観察するための第Ⅰ相試験（小川徹也－耳鼻咽喉科）
契約期間延長について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

Ⅲ 新たな安全性情報の入手による継続について

1. 中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の導入療法及び維持療法における安全性及び有効性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験（アグジャー消化管内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
2. 潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相多施設共同長期継続投与試験（アグジャー消化管内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
3. 田辺三菱製薬株式会社の依頼による遅発性ジスキネジア患者を対象とした MT-5199 の第Ⅱ/Ⅲ相試験（田辺三菱製薬－精神神経科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

4. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Brivaracetam (ucb34714) の第Ⅲ相試験
(ユーシービージャパン精神神経科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
5. ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象とした Filgotinib の第Ⅲ相試験 (ギリアド・サイエンシズ 消化管内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
6. ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象とした Filgotinib の継続投与試験 (ギリアド・サイエンシズ 消化管内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
7. ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした Filgotinib の継続投与試験 (ギリアド・サイエンシズ 消化管内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
8. ユーシービージャパン株式会社の依頼によるてんかん患者を対象としたレベチラセタムの第Ⅲ相試験 (ユーシービージャパン小児科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
9. アムジェン株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした AMG423 の第Ⅲ相試験
(アムジェン循環器内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
10. CP-690,550 潰瘍性大腸炎患者対象 第Ⅲ相多施設共同非盲検試験 (ファイザー 消化管内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
11. 生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作

- 為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（アッガイー消化管内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
12. 既存治療及び／又は生物学的製剤に対して効果不十分又は不耐容である中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（アッガイー消化管内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
13. M14-431 試験又は M14-433 試験を完了したクローン病患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び長期継続投与試験（アッガイー消化管内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
14. 中等症から重症の活動性クローン病患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（アッガイー消化管内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
15. M16-006 試験又は M15-991 試験の導入療法で改善した；若しくは M15-989 試験を完了したクローン病患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験
（アッガイー消化管内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
16. 糖尿病性腎臓病患者を対象とした RTA 402（Bardoxolone methyl）の第Ⅲ相試験
（協和キリン腎臓・リウマチ膠原病内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
17. 中等症から重症の青少年及び成人アトピー性皮膚炎患者におけるウパダシチニブの第Ⅲ相無作為化プラセボ対照二重盲検試験（アッガイー皮膚科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

18. 生物学的製剤が奏効しなかった中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした **risankizumab** の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（アッガイー消化管内科）

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

19. **M16-067** 試験又は **M16-065** 試験の導入療法で改善した潰瘍性大腸炎患者を対象として **risankizumab** の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（アッガイー消化管内科）

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

20. 日本イーライリリー株式会社の依頼による従来治療及び生物学的製剤が不良な中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした **LY3074828** の第Ⅲ相試験（日本イーライリリー消化管内科）

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

21. 日本イーライリリー株式会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした **LY3074828** の第Ⅲ相試験（日本イーライリリー消化管内科）

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

22. 旭化成ファーマ株式会社の依頼による **AK1820** の第Ⅲ相試験（旭化成ファーマ感染症科）

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

23. 中外製薬株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象とした **RO6867461** の第Ⅲ相試験（中外製薬－眼科）

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

24. 糖尿病黄斑浮腫患者を対象として **MYL-1701P (M710)** の有効性及び安全性を **Eylea®** と比較評価する多施設共同無作為化二重遮蔽実薬対照試験（マイソ EPD－眼科）

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

25. 固形がん患者に対する Mogamulizumab (抗 CCR4 抗体)・Nivolumab (抗 PD-1 抗体) 術前併用投与の安全性を観察するための第 I 相試験 (小川徹也ー耳鼻咽喉科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

26. 中等症から重症の活動期クローン病を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第 II/III 相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、並行群間比較、多施設共同試験 (ヤセノファーマー消化管内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

27. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Padsevonil の第 III 相試験
(ユ-ジ-ビ-ジ ョン 精神神経科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

28. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Padsevonil の第 III 相継続投与試験
(ユ-ジ-ビ-ジ ョン 精神神経科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

29. 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象とした Faricimab の第 III 相試験
(中外製薬ー眼科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

30. Shire の依頼によるけいれん性てんかん重積状態を有する小児患者を対象とした MHOS/SHP615 の第 3 相非盲検継続試験 (IQVIA サービスズ ジャパンー小児科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

31. マルホ株式会社による M606102 の原発性腋窩多汗症患者に対する長期投与試験
(マルホー皮膚科)

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

32. 慢性腎臓病患者を対象とした心・腎アウトカムを評価する、エンパグリフロジン1日1回投与に関する国際多施設共同、無作為化、並行群間、二重盲検、プラセボ対照比較臨床試験
(パレケル・インターナショナル糖尿病内科)

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

33. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Brivaracetam (ucb34714) の第Ⅲ相長期継続投与試験 (ユーシービージャパン精神神経科)

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

34. ノバルティスファーマ株式会社の依頼による腎移植患者を対象とした CFZ533 の第Ⅱ相試験 (ノバルティスファーマ腎移植外科)

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

35. 日本イーライリリー株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした LY3074828 の第Ⅲ相試験 (日本イーライリリー消化管内科)

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

36. ノバルティスファーマ株式会社の依頼による網膜中心静脈閉塞症を対象とした RTH258 の第Ⅲ相試験 (ノバルティスファーマ眼科)

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

37. ALS 対象の第Ⅲ相試験 1 (田辺三菱製薬—神経内科)

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

38. 日本イーライリリー株式会社の依頼による NASH 患者を対象とした LY3298176 の第Ⅱ相試験 (日本イーライリリー肝胆臓内科)

安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

39. 滲出型加齢黄斑変性患者を対象に高用量アフリベルセプトの有効性及び安全性を検討する無作為化二重遮蔽実薬対照第Ⅲ相試験（バイエル薬品－眼科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

○報告事項

I 製造販売承認の取得等について

1. 経口糖尿病薬単剤と併用時のセマグルチド（経口投与）の安全性及び有効性の検討
（ノボルティスク ファーマー糖尿病内科）
製造販売承認の取得及び文書の保存期間について報告があり、了承した。

II 開発中止について

1. 帝人ファーマ株式会社の依頼による慢性腎臓病患者を対象とした TCF-12 の探索的試験
（帝人ファーマ腎臓・リウマチ膠原病内科）
被験薬の開発中止及び文書の保存期間について報告があり、了承した。
2. 株式会社新日本科学 PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者を対象とした SHP647 の第Ⅲ相導入療法試験（FIGARO UC 301）
（新日本科学 PPD－消化管内科）
炎症性腸疾患を対象とする SHP647 臨床試験プログラムの早期中止、SHP647 売却に関する当社義務の欧州委員会による解除、及び症性腸疾患（IBD）を対象とする Ontamalimab（SHP647）プログラム中止の意向について報告があり、了承した。
3. 株式会社新日本科学 PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者を対象とした SHP647 の第Ⅲ相維持療法試験（FIGARO UC 303）
（新日本科学 PPD－消化管内科）
炎症性腸疾患を対象とする SHP647 臨床試験プログラムの早期中止、SHP647 売却に関する当社義務の欧州委員会による解除、及び症性腸疾患（IBD）を対象とする Ontamalimab（SHP647）プログラム中止の意向について報告があり、了承した。
4. 株式会社新日本科学 PPD（治験国内管理人）の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎

又はクローン病患者を対象とした SHP647 の第Ⅲ相継続投与試験 (AIDA)

(新日本科学 PPD－消化管内科)

炎症性腸疾患を対象とする SHP647 臨床試験プログラムの早期中止、SHP647 売却に関する当社義務の欧州委員会による解除、及び炎症性腸疾患 (IBD) を対象とする Ontamalimab (SHP647) プログラム中止の意向について報告があり、了承した。

5. 株式会社新日本科学 PPD (治験国内管理人) の依頼による中等症から重症のクローン病患者を対象とした SHP647 の第Ⅲ相導入療法試験 (CALMEN CD 305)

(新日本科学 PPD－消化管内科)

炎症性腸疾患を対象とする SHP647 臨床試験プログラムの早期中止、SHP647 売却に関する当社義務の欧州委員会による解除、及び炎症性腸疾患 (IBD) を対象とする Ontamalimab (SHP647) プログラム中止の意向について報告があり、了承した。

6. 株式会社新日本科学 PPD (治験国内管理人) の依頼による中等症から重症のクローン病患者を対象とした SHP647 の第Ⅲ相維持療法試験 (CALMEN CD 307)

(新日本科学 PPD－消化管内科)

炎症性腸疾患を対象とする SHP647 臨床試験プログラムの早期中止、SHP647 売却に関する当社義務の欧州委員会による解除、及び炎症性腸疾患 (IBD) を対象とする Ontamalimab (SHP647) プログラム中止の意向について報告があり、了承した。

※治験審査委員会要綱第 7 条第 4 項により、当該治験に関与する委員は審議及び採決には参加していません。